

# 地域農業理解促進事業「のういく（農育）」の取り組み

【湘南支部】

## 1 はじめに

子どもの発育にとって大切な「食」や自然とのふれあいは、「農」が基本の一つとなっていますが、子どもの身近にある農業については、一般的にあまり知られていないのが現状です。

また、これまで農業や農政の幼児向けの理解促進活動は、ほとんど行われてきませんでした。

このため、これからの社会を担う子どもたちに、湘南地域の身近な農業や農業用施設について知ってもらい、安全安心な地域農産物を食べてもらうことにより、将来にわたり（大人になって）県産農産物や農政を応援してもらえる人材を育成することを目的として、平成30年度から、関係土地改良区のご協力を得て実施している取組を紹介します。

## 2 事業の概要

### (1) 農育出前講座

地域の保育園、幼稚園等に呼びかけ、園等からの要望に応じて、稲の成長段階に合わせた農育出前講座を行いました。

#### ① 稲作紙芝居

職員手作りの紙芝居により、米作りに関わる農作業や農業用施設をわかりやすく説明しました。



#### ② バケツ稲の栽培

初夏にバケツ稲の田植え体験。そのまま園庭にバケツ稲を置き、園に毎日水やりをしてもらい生育過程を観察。秋には稲刈り体験をしました。



#### ③ 稲穂から精米までの体験

粳米を入れたすり鉢を軟式ボールで押し回した粳摺り体験や精米機を回した精米実演を行いました。粳米は、相模川左岸土地改良区前理事長の赤井様の田んぼで収穫されたものです。



#### ④ 試食体験

収穫精米した米を炊いて試食体験をしました。



#### ⑤ 農業水利施設模型実演

雨樋を水路に、水槽を田んぼに見立てた模型を職員手作りで製作し、田んぼに水を引く実演を行い、水の循環や農業水利施設の仕組みを知ってもらいました。



#### ⑥ 保護者への理解促進

園児の保護者に、事業趣旨、NNパンフレット、都市農業基本条例、JA直売場マップ等を配布し、NN事業の理解促進や県産農産物の普及促進に努めました。

#### (2) 農業水利施設模型の製作

よりリアルな模型実演を行うために、幼児が実際に水を流すことにより、農業水利の仕組みや水田の多面的機能を、楽しく学ぶことができるジオラマを関係土地改良区の協力を得て、製作しています。(令和2年度末完成予定)

### 3 農育出前講座の実施経緯

#### (1) 平成30年度(倉見幼稚園:寒川町倉見)

2月25日:稲作紙芝居、粃摺り体験、精米実演

#### (2) 令和元年度(倉見幼稚園:寒川町倉見)

7月9日:バケツ稲づくり体験

10月16日:バケツ稲の稲刈り体験

12月16日:稲作紙芝居、粃摺り体験、精米実演、試食体験、農業水利施設模型実演

#### (3) 令和2年度(室田保育園:茅ヶ崎市室田一丁目)

10月6日:バケツ稲の稲刈り体験

11月4日:粃摺り体験、精米実演、試食体験

### 4 おわりに

本事業は、地域県政総合センターの企画事業として地域課題対策費を活用して実施しましたが、出前講座を受けた園からは好評の声をいただき、事業は概ね成功していると考えています。

本事業に係る地域課題対策費は令和2年度で終了し、今後はゼロ予算となりますが、翌年度以降も整備した模型や用具を有効に活用し、更なる普及啓発活動に努めてまいります。

最後に、相模川左岸土地改良区及び相模川西部土地改良区の皆様には、本事業に対して多大なご協力をいただいたことについて、この場をお借りしてお礼申し上げます。

(問合せ先 湘南地域県政総合センター農政部農地課)